

世界農業遺産「高千穂郷・椎葉山地域」の持続的な活性化を目指しています！



世界農業遺産
高千穂郷・椎葉山地域
GIAHS Takachihogo-Shiibayama



1 世界農業遺産（GIAHS：ジアス）とは

- 国連食糧農業機関（FAO）が平成14年から開始した制度で、次世代に受け継がれるべき重要な伝統的農業や生物多様性、伝統知識、農村文化、農業景観等を「地域システム」として認定し、その保全と持続的な活用を図るもの。
- 世界農業遺産の保全活用に向けた取組は、SDGsに紐付く、国際社会における諸課題の解決に繋がる可能性を秘めている。

GIAHS認定＝次世代に受け継ぐべき「地域のすごい農業（システム）」を世界が認めた！

→ 地域の自信や誇りの回復、伝統的な農林水産業の価値を再認識するきっかけになることを期待

- 現在、全世界で24カ国77地域が認定。日本の認定地域は15地域（R5.7月現在）。

□ 世界農業遺産って世界遺産と何が違うの？

世界遺産は建物や自然等をそのまま保存する事を目的（過去の遺産）
世界農業遺産はその「農業・地域システム」を環境の変化に適応しながら保全し、次世代に継承していく事を目的（生きている遺産）

2 高千穂郷・椎葉山地域の認定内容（山間地農林業複合システムによる森林と農林業の調和）

- 面積の92%が森林で、そのほとんどが傾斜地であるという厳しい条件の中、人々は、**農業と林業とを複合的**に行うことで、森林の保全と活用とのバランスを図りながら生活の糧を得ている。
- その営みは、森林や農地に生息する**希少動植物の保全**、山々の斜面を覆う棚田などの**美しい景観**、そして、古の日本神話と民俗を今に伝える神楽などの**伝統文化**を育み、大切に受け継がれている。
- この農林業複合システムは、世界的に重要な伝統的システムと評価され、平成27年（2015年）に世界農業遺産に認定。

- 高千穂町
- 日之影町
- 五ヶ瀬町
- 諸塚村
- 椎葉村



高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム

伝統的な循環型農業



伝統文化と地域の絆



木材生産とモザイク林



様々な伝統的農林業



人づくり



3 地域の保全・活用の取組について

現在、認定5町村や県、関係団体が一体となり、「伝統的な山間地農林業複合システム」の保全と世界農業遺産の認定を地域活性化に活用し、次世代に継承するため、「活かす」「育てる」「繋げる」の3つの視点で取り組んでいます。

活かす

- シンポジウム、セミナー開催
- ロゴマークの決定、活用
- 地域ブランドの商品開発
- 農泊推進
- ツアー商品の造成



シンポジウムの開催



地域ブランド商品開発

育てる

- 地域、大学、高校の三者による連携協定
- 教育プログラム「GIAHSアカデミー」開講
- 「聞き書き」による若者育成
- 神楽等伝統文化継承への支援



小学校へのお出前授業



スタディツアー

繋げる

- 国内外からの視察受入
- 中学生サミットの開催
- 都市部におけるプロモーション活動
- 国際的な会合における事例発表



中学生サミット



都市部との交流イベント

4 今後の取組に対するお願い

伝統的な農林業や文化を有する**高千穂郷・椎葉山地域の次世代継承**について賛同いただき、当該地域の持続的な活性化のため行う取り組みについて、「**企業版ふるさと納税制度**」でのご支援をご検討ください。

- **企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）** \ 制度は、**10万円以上の寄付が対象！** /
地方自治体の地方創生に関する事業に対して寄付をすることで、損金算入措置（約3割）と合わせて、最大で寄付額の約9割の税の軽減効果が受けられる**企業による地域支援を後押しする制度**
- **企業としてのメリット**

SDGsやCSR活動の達成

社会貢献

県や当該地域の自治体との
新たなパートナーシップ

当該地域の資源を活かした

新事業の展開

当該地域の保全・活性化による

CO₂削減への寄与

→ 地域のCO₂の吸収量 約87万トン（推定）

お問い合わせ先（どこへでもお話を伺います！）

宮崎県農政企画課中山間農業振興室 中山間活性化担当 古川

TEL0985-26-7049 e-mail : chusankan-nogyo@pref.miyazaki.lg.jp